

ドル高再開はいつか?

ドル円相場は月初に104円間際
に達した後反転、足元では101
円台に下落している。ウクライ
ナ情勢の緊迫化や米株価の調整で、リス
ク回避の円買いが優勢となった。また、8
日の黒田日銀総裁会見を受けて追加緩和
期待が後退したことも円高圧力になった。
今後もしばらく波乱含みでドル円の上値
は重そうだ。寒波の影響剥落によって米
景気は底堅い姿が示されそうだが、早期
利上げ観測はやや修正されており、日米
金利差の急拡大は見込めない。また、海
外ではウクライナ情勢、国内では消費増
税による景気下振れ懸念があり、リスクオ
ンの円売りも期待薄。さらに増税は輸入
減を通じて実需の円売りをも減少させる。
しかし、遅くとも6月には円安ドル高基調
の再開が期待できる。今よりも消費増税
の反動減が緩和するとともに米景気の回
復基調も強まっていると予想されるため
だ。混迷を極めるウクライナ情勢も、大統
領選を終えて落とし所が見えてくる可能
性がある。

ユーロの対ドル相場は最近ドルの弱含
みを受けて水準を切り上げている。しかし、
今後3ヵ月で見ると、米景気回復やECBの
追加緩和観測によってユーロがやや弱含
むと見る。この間、円安ドル高も進むこと
で、ユーロ円では横ばいを予想。

長期金利は0.6%付近での低迷が続いて
いる。3ヵ月後には円安や米金利回復が上
昇圧力となるが、日銀の国債買入れによっ
て影響が抑制されるため、上昇余地はかな
り限定的。0.6~0.7%程度と予想する。

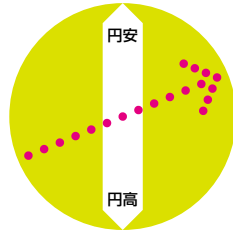


シニアエコノミスト **上野 剛志**
うえの つよし | tueno@nli-research.co.jp
1998年日本生命保険相互会社入社、
2001年同融資部門財務審査部配属、
2007年日本経済研究センターへ派遣、
2008年米シンクタンク
The Conference Boardへ派遣、
2009年ニッセイ基礎研究所(現職)。

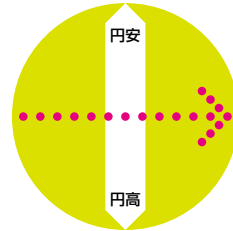


Market Karte

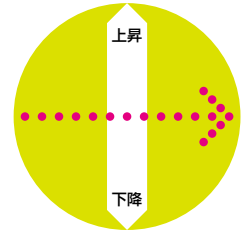
May 2014



ドル円・3ヵ月後の見通し

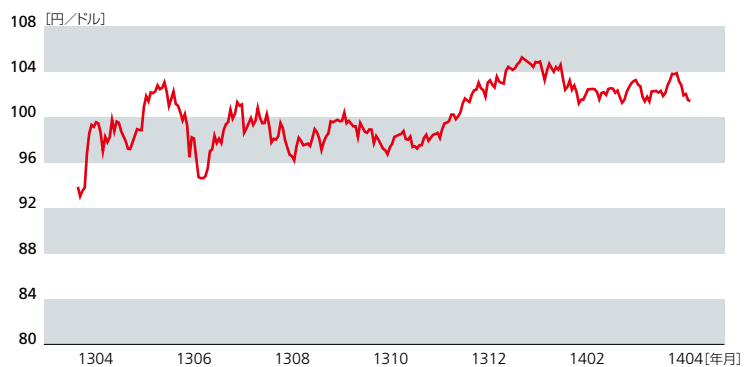


ユーロ円・3ヵ月後の見通し

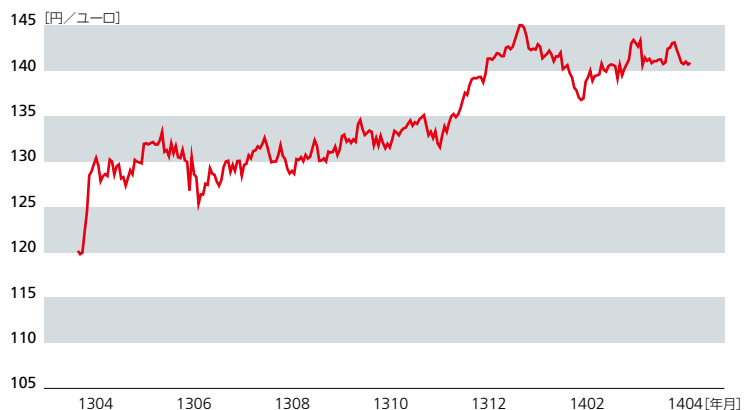


長期金利・3ヵ月後の見通し

円・ドル為替レートの推移 [直近1年] 資料:日本銀行



円・ユーロ為替レートの推移 [直近1年] 資料:ECB



長期金利(10年国債利回り)の推移 [直近1年] 資料:日本証券業協会

